

小さなラブレター まり子とねむの木の子どもたち (1981)

メディア TV アニメ

ジャンル ドラマ

製作国 日本

1981/12/22 ~

TV放映 19:30~20:54

テレビ朝日

【解説】

高名な歌手、女優で東京都名誉都民にも選定された福祉事業家・宮城まり子が現実に創設した身体障害児の施設「ねむの木学園」。そこでの実話をもとにした、TV特番形式のドキュメンタリー・アニメドラマ。1968年に、女優・宮城まり子が静岡の一角に創設した、肢体が不自由な児童のための療養施設「ねむの木学園」。まり子は同施設の学園長、また身体障害児たちの母親として14年間の長い日々を過ごしてきた。まり子を支えるのはその秘書の陽子、保母のひとみ、そして近所の中年・中村さんたち。学園での歳月を通じて、多くの者が人と人との触れ合いに快い温もりを与えられていく。1981年に放映されたアニメスペシャル『ヘレン・ケラー物語』の流れを汲む作品で、企画製作は同じNOW企画。真剣で重厚な主題の作品だが、全編は明るいタッチでまとまっている。アニメの実制作は、オカスタジオ。

【クレジット】

監督 石田雄三

原作 宮城まり子

作画監督 小泉謙三

音楽 青木望

声の出演 増山江威子 まり子

潘恵子 ひとみ

三浦雅子 ゆたか

杉山佳寿子 タワー

古川登志夫 大原